

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6564589号
(P6564589)

(45) 発行日 令和1年8月21日(2019.8.21)

(24) 登録日 令和1年8月2日(2019.8.2)

(51) Int.Cl.	F I
B 6 5 D 3/02 (2006.01)	B 6 5 D 3/02 B
B 6 5 D 5/10 (2006.01)	B 6 5 D 5/10 L
B 6 5 D 5/66 (2006.01)	B 6 5 D 5/10 H
B 6 5 D 5/52 (2006.01)	B 6 5 D 5/66 3 O 1 G
	B 6 5 D 5/52 F
請求項の数 4 (全 24 頁) 最終頁に続く	

(21) 出願番号	特願2015-50378 (P2015-50378)	(73) 特許権者	000145862
(22) 出願日	平成27年3月13日 (2015.3.13)		株式会社コーセー
(65) 公開番号	特開2016-169038 (P2016-169038A)		東京都中央区日本橋3丁目6番2号
(43) 公開日	平成28年9月23日 (2016.9.23)	(73) 特許権者	000202154
審査請求日	平成30年1月15日 (2018.1.15)		相互印刷株式会社
			大阪府大阪市北区本庄西3丁目8番26号
		(74) 代理人	100111372
			弁理士 津野 孝
		(74) 代理人	100168538
			弁理士 加藤 来
		(74) 代理人	100186495
			弁理士 平林 岳治
		(74) 代理人	100191640
			弁理士 星 睦
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 商品包装箱

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と該正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と該背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と該正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、前記正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、

前記つまみ片を切り込むとともに前記つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から前記蓋板に向けて起立する係止舌片と、

前記蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、

前記つまみ片によって前記係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除することを特徴とする商品包装箱。

【請求項2】

箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と該正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と該背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と該正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折

10

20

り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、前記正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、

前記つまみ片を切り込むとともに前記つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えた直後の正面側折り返し板側の切り欠き中断点を除いて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から前記蓋板に向けて起立する係止舌片と、

前記蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、

前記つまみ片によって前記係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除することを特徴とする商品包装箱。

10

【請求項 3】

箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と該正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と該背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と該正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、前記正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、

前記つまみ片を少なくとも切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から前記蓋板に向けて起立する係止舌片と、

前記蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、

20

前記係止舌片に左右一対で形成されたくの字状舌片側辺が、前記つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線と交差して相互に内向き状態に切り欠かれ、

前記つまみ片によって前記係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除することを特徴とする商品包装箱。

【請求項 4】

前記正面板と該正面板の上側で折り曲げ線を介して折り返された正面側折り返し板とが、相互に一連で挿通する箱吊り下げ用孔をそれぞれ備えていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一つに記載の商品包装箱。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、化粧品類、医薬品などの商品を商品収容領域内に収容して陳列展示する商品包装箱であって、特に、商品の付加価値を向上させるデザイン性の高い湾曲表示面を備えた正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域内に商品を収容して陳列展示する商品包装箱に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、商品を収容して陳列展示する商品包装箱として、商品を収める収納部とこの収納部の開口を閉塞する差込部とを設けるとともに、陳列展示壁などのフックに収納部を吊り下げるための吊下部を延設した包装箱がある。

40

そして、このような包装箱は、吊下部の延設基端側に係止片を形成するとともに差込部の係止片と対応する位置に係止孔を形成することにより、差込部により収納部の開口を閉塞する際には、吊下部を背面側へ強引に湾曲させることによって係止片を係止孔に差し込んで係止片と係止孔とを係合し、他方、収納部を開口する際には、吊下部を背面側へ再び湾曲させ、係止片と係止孔との係合を解除するようになっている（例えば、特許文献 1 参照）。

【0003】

また、従来の別の商品包装箱として、開口部を有する容器本体とこの開口部を閉塞する

50

蓋部とを設け、蓋部に閉封状態から開蓋状態に回動方向させる方向に向けて切り起こされた係止片を形成するとともに、容器本体に起立された補助板に係止片と係合する被係止部を形成した包装用容器がある。

そして、このような包装用容器は、蓋部を閉封状態から開蓋状態に回動させる場合に、係止片が被係止部から外れにくく、強固に閉封状態を維持している（例えば、特許文献2参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】実用新案登録第2593183号公報（特に、実用新案登録請求の範囲、図面を参照。）

10

【特許文献2】登録実用新案第3182100号公報（特に、実用新案登録請求の範囲、図面を参照。）

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特許文献1の包装箱では、不測の外力が働いた場合、例えば、人手、他部材などとの過度な当接や包装箱相互の過度な接触により吊下部が背面側に向けて湾曲した場合、係止片と被係止部の係合が不用意に外れて商品が露呈し、商品の損傷を招くという問題があった。

20

【0006】

また、特許文献2の包装用容器では、蓋部を閉封状態から開蓋状態に回動させる場合に、係止片が被係止部から外れにくく、強固に閉封状態を維持しているため、一度係止すると、蓋を開蓋状態にすることが困難になるという問題があった。

【0007】

さらに、これらの商品包装箱を改良することにより、商品の付加価値を向上させるデザイン性の高い商品包装箱を創作しようとしても、箱外形が全て平面板部材で構成されているため、商品の付加価値を向上させるデザイン性を高めることができないという問題があり、たとえ、湾曲表示面を備えた正面板部材を用いて商品の付加価値を向上させるデザイン性の高い商品包装箱を創作しようとしても、湾曲表示面を備えた正面板部材に起因する内部応力が発生して蓋部材を円滑に開閉することができないという問題があった。

30

【0008】

そこで、本発明は、前述したような従来技術の問題を解決するものであって、すなわち、本発明の目的は、商品の付加価値を向上させるデザイン性の高い湾曲表示面を備えた正面板の優れた保形強度と形態安定性とを長期に亘って確保するとともに、蓋板の不用意な浮き上がりによる蓋外れを確実に回避し、開蓋時に係止舌片と係止スリットとの係止状態を簡便に解除する商品包装箱を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0009】

（削除）

40

【0010】

本請求項1に係る発明は、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と該正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と該背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と該正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、前記正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、前記つまみ片を切り込むとともに前記つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から前記蓋板に向けて起立する係止舌片と、前記蓋板と背面側折

50

り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、前記つまみ片によって前記係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除することにより、前述した課題をさらに解決するものである。

【0011】

本請求項2に係る発明は、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と該正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と該背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と該正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、前記正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、前記つまみ片を切り込むとともに前記つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えた直後の正面側折り返し板側の切り欠き中断点を除いて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から前記蓋板に向けて起立する係止舌片と、前記蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、前記つまみ片によって前記係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除することにより、前述した課題をさらに解決するものである。

10

【0012】

本請求項3に係る発明は、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と該正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と該背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と該正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、前記正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、前記つまみ片を少なくとも切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から前記蓋板に向けて起立する係止舌片と、前記蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、前記係止舌片に左右一対で形成されたくの字状舌片側辺が、前記つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線と交差して相互に内向き状態に切り欠かれ、前記つまみ片によって前記係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除することにより、前述した課題をさらに解決するものである。

20

30

【0013】

本請求項4に係る発明は、請求項1乃至請求項3のいずれか一つに記載された商品包装箱の構成に加えて、前記正面板と該正面板の上側で折り曲げ線を介して折り返された正面側折り返し板とが、相互に一連で挿通する箱吊り下げ用孔をそれぞれ備えていることにより、前述した課題をさらに解決するものである。

【発明の効果】

【0014】

本請求項1に係る発明の商品包装箱によれば、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板と、この正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板と、この背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と、正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と、この正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と、蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備えていることにより、背面板より背の高い正面板であっても正面側折り返し板と背面側折り返し板とが正面板の裏面に重ね合わせられて正面板が補強されるため、商品の付加価値を向上させるデザイン性の高い湾曲表示面を備えた正面板の優れた保形強度と形態安定性とを長期に亘って確保することができるばかりでなく、斜め上方から視認した場合であっても蓋板を観せること無く商品情報のみが観易くなるため、スッキリとしたデザイン性の高い優れた美観の商品包装箱を提供することができる。

40

【0015】

50

そして、正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板と、この正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と、蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを備えていることにより、蓋板の閉蓋時に蓋板の背面側折り返し板が正面板の裏面と正面側折り返し板との間で挟持されるとともに、つまみ片が正面側折り返し板とつまみ片との折り曲げ線で蓋板の閉蓋位置を位置決め保持するため、つまみ片で蓋板の不用意な浮き上がりによる蓋外れを確実に阻止することができる。

また、蓋板の閉蓋時に蓋板の背面側折り返し板が正面板の裏面と正面側折り返し板との間で挟持されて重ね合わせられた状態で保持されているため、蓋板の閉蓋時に蓋板が不用意に沈み込もうとしても正面板の裏面と正面側折り返し板との対向面間で接触抵抗が創出されて蓋板の落ち込みを抑制し、特に、正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域R内に収容される商品の高さ寸法が蓋板の閉蓋位置に届くような場合には、蓋板の不用意な落ち込みを完全に阻止することができる。

【0016】

さらに、つまみ片を切り込むとともにつまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から蓋板に向けて起立する係止舌片と、蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備えていることにより、蓋板の開蓋時に箱外周側方側に向けて湾曲する正面板の歪で生じる内部応力の影響を受けることなく、人手により正面側折り返し板を離反させるように引き上げることによってつまみ片が係止舌片を誘導して係止スリットから引き出されるため、従来のような係止舌片を係止スリットから直接に引き出す際に必要となる解除操作負担が著しく軽減され、つまみ片で係止舌片と係止スリットとの係止状態を簡便に解除することができる。

【0017】

加えて、係止舌片が、つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えて正面側折り返し板側へ切り欠き形成されていることにより、係止舌片の長さがつまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えていない場合よりもより長くなり、係止舌片の弾性変形度合いが大きくなってつまみ片の引き上げ方向に順応し易くなるため、開蓋のための係止舌片と係止スリットとの係止解除の操作を開始する際に係止舌片を係止スリットから円滑に引き抜き解除することができる。

【0018】

本請求項2に係る発明の商品包装箱によれば、つまみ片を切り込むとともにつまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えた直後の正面側折り返し板側の切り欠き中断点を除いて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から蓋板に向けて起立する係止舌片と、蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して前記係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備えていることにより、つまみ片による引き抜き力が一定以上になると先に切り欠き中断点が破断されて係止舌片として変形可能な長さが長くなり、係止舌片の弾性変形度合いが大きくなってつまみ片の引き上げ方向に順応し易くなるため、開蓋のための係止舌片と係止スリットとの係止解除の操作を開始する際に係止舌片を係止スリットから円滑に引き抜き解除することができる。

また、つまみ片による引き抜き力が切り欠き中断点を破断する際に、つまみ片による引き抜き力が切り欠き中断点で一時的に抑制されるように分散されるため、蓋板を破損することなく係止舌片を係止スリットから円滑に引き抜き解除することができる。

さらに、つまみ片による引き抜き力が切り欠き中断点を破断するため、この切り欠き中断点が破断している状態によって商品包装箱を出荷した後に開蓋された事実を簡便に確認することもできる。

【0019】

本請求項3に係る発明の商品包装箱によれば、係止舌片に左右一対で形成されたくの字状舌片側辺が、つまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線と交差して相互に内向き状

10

20

30

40

50

態に切り欠かれていることにより、つまみ片のつまみ位置がつまみ片の左右いずれかの位置に偏った場合であったり、つまみ片の引き上げ方向が正面板の真後ろ方向から左右いずれかの方向へ偏った場合であっても、偏った側に切り欠かれたくの字状舌片側辺の正面側折り返し板側切り欠き部分がつまみ片の偏った引き上げ動作に対してより一段と追従し易くなるため、開蓋のための係止舌片と係止スリットとの係止解除の操作を開始する際に利き手などによるつまみ片のつまみ位置や引き上げ方向に関わることなく係止舌片を係止スリットから円滑に引き抜き解除することができる。

【 0 0 2 0 】

本請求項 4 に係る発明の商品包装箱によれば、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一つに記載された商品包装箱が奏する効果に加えて、正面板と該正面板の上側で折り曲げ線を介して折り返された正面側折り返し板とが、相互に一連で挿通する箱吊り下げ用孔をそれぞれ備えていることにより、商品包装箱を陳列展示壁などに設けた商品吊り下げ用フックなどに吊り下げて陳列する際に箱吊り下げ用孔が正面板と正面側折り返し板の双方を一連で挿通するように設けられているため、商品包装箱内に収容された商品が従来よりも重い吊り下げ荷重であっても十分な耐久性を発揮して箱吊り下げ用孔の破損に起因する不用意な落下も防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 1 】

【図 1】本発明の参考例である商品包装箱の外観を示す正面側斜視図。

【図 2】本発明の参考例である商品包装箱の外観を示す背面側斜視図。

【図 3】本発明の参考例である商品包装箱の展開図。

【図 4】本発明の参考例である商品包装箱の蓋板が開いた背面側斜視図。

【図 5】本発明の参考例である商品包装箱の蓋板が閉じた背面側斜視図。

【図 6】本発明の参考例である商品包装箱の正面側折り返し板が折り返された背面側斜視図。

【図 7】本発明の参考例である商品包装箱が組み立て完成した背面側斜視図。

【図 8】図 7 の 8 - 8 で視た係止舌片と係止スリットとの係止状態の断面図。

【図 9】図 8 に示す係止舌片と係止スリットとの解除動作開始状態の断面図。

【図 10】図 8 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直前状態の断面図。

【図 11】図 8 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直後状態の断面図。

【図 12】本発明の第 1 実施例である商品包装箱の蓋板が開いた背面側斜視図。

【図 13】本発明の第 1 実施例における係止舌片と係止スリットとの係止状態の断面図。

【図 14】図 13 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直前状態の断面図。

【図 15】図 13 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直後状態の断面図。

【図 16】本発明の第 2 実施例である商品包装箱の外観を示す背面側斜視図。

【図 17】本発明の第 2 実施例である商品包装箱の展開図。

【図 18】本発明の第 2 実施例である商品包装箱の蓋板が開いた背面側斜視図。

【図 19】図 16 の 19 A - 19 A で視た係止舌片と係止スリットとの係止状態の断面図。

【図 20】図 16 に示す係止舌片と係止スリットとの解除動作開始状態の断面図。

【図 21】図 16 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直前状態の断面図。

【図 22】図 16 に示す切り欠き中断点が破断する状態の断面図。

【図 23】図 16 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直後状態の断面図。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 2 2 】

本発明は、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板とこの正面板の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板とこの背面板の上側に折り曲げ線を介して連設して開閉する蓋板と前記正面板の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板とこの正面側折り返し板の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片と前記蓋板の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板とを少なくとも備え、正面

板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成する商品包装箱であって、つまみ片を切り込むとともにつまみ片と正面側折り返し板との間の折り曲げ線を越えて正面側折り返し板側へ切り込んで形成して前記正面側折り返し板の上側に設けた折り曲げ線から蓋板に向けて起立する係止舌片と、蓋板と背面側折り返し板との間の折り曲げ線に沿って切り込んで形成して係止舌片を差し込み係止する係止スリットとを備え、つまみ片によって係止舌片と係止スリットとの係止状態を解除するものであれば、その具体的な実施態様は、如何なるものであっても構わない。

【 0 0 2 3 】

すなわち、本発明における商品包装箱の具体的な素材については、商品包装箱に通常採用されている素材であれば如何なる素材であっても差し支えなく、たとえば、上質紙・中質紙の表面に白色顔料と接着剤などを混ぜた塗料を塗って平滑性をもたせたコート紙、アルミ蒸着したポリエチレンテレフタレートフィルムをコート紙などのベース紙の表面に被覆してなる蒸着紙、ボール紙、コートボール紙などの紙材、あるいは、ポリエチレンテレフタレート、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニル、ポリスチレン等の樹脂フィルムであっても構わない。

【 0 0 2 4 】

そして、本発明における商品包装箱の具体的な箱形態については、商品の付加価値を向上させるデザイン性の高い湾曲表示面を備えた正面板と背面板と蓋板とで少なくとも包囲された商品収容領域を形成するものであれば、如何なる箱形態であっても良く、正面板と背面板の下側に底板を備えていることは言うまでもないが、正面板と背面板との間の両側方については、左右一対の側板を備えていても良く、左右一対の側板を備えていなくても良く、左右一対の側板を背面板の一部両側部分で置き換えて緩やかな側方部分としても良い。

【 0 0 2 5 】

また、正面板の組み立て時における具体的な断面形態については、扇形のように全面を湾曲させた断面形態、正面を平面として片側もしくは両側を湾曲させた断面形態、半楕円状の断面形態など、正面板の一部もしくは全部が箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する断面形態などの何れであってもよい。

【 0 0 2 6 】

さらに、係止舌片と係止スリットは、少なくとも各々一つずつ用いるが、箱寸法の大型化に伴って各々を複数用いた構造としても良い。

【 参考例 】

【 0 0 2 7 】

本発明の参考例である商品包装箱について、図 1 乃至図 11 に基づいて説明する。

ここで、図 1 は、本発明の参考例である商品包装箱の外観を示す正面側斜視図であり、図 2 は、本発明の参考例である商品包装箱の外観を示す背面側斜視図であり、図 3 は、本発明の参考例である商品包装箱の展開図であり、図 4 は、本発明の参考例である商品包装箱の蓋板が開いた背面側斜視図であり、図 5 は、本発明の参考例である商品包装箱の蓋板が閉じた背面側斜視図であり、図 6 は、本発明の参考例である商品包装箱の正面側折り返し板が折り返された背面側斜視図であり、図 7 は、本発明の参考例である商品包装箱が組み立て完成した背面側斜視図であり、図 8 は、図 7 の 8 - 8 で見た係止舌片と係止スリットとの係止状態の断面図であり、図 9 は、図 8 に示す係止舌片と係止スリットとの解除動作開始状態の断面図であり、図 10 は、図 8 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直前状態の断面図であり、図 11 は、図 8 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直後状態の断面図である。

また、本参考例の説明において、「上」、「下」、「左」、「右」は、図 1 および図 2 に示すように組み立てられた商品包装箱を基準とした「上」、「下」、「左」、「右」、すなわち、箱吊り下げ用孔側を「上」とし、正面板へ向かって背面板から見たときの「左」、「右」である。

【 0 0 2 8 】

まず、本発明の参考例である商品包装箱 100 は、図 1 および図 2 に示すように、コート紙からなる正面板 110 と背面板 120 と蓋板 130 とで少なくとも包囲された商品収容領域 R 内に商品 M を収容して陳列展示するものであって、特に、正面板 110 は、洗顔用石鹸からなる商品 M の付加価値を向上させるために、商品名、商品タッチフレイズ、図柄などでデザイン性を呈し、湾曲表示面となるように配置されている。

【0029】

すなわち、本発明の参考例である商品包装箱 100 は、図 3 に示すように、箱外周前方側へ膨出して湾曲する正面板 110 と、この正面板 110 に対向して箱外周後方側に配置した背面板 120 と、この背面板 120 の上側に折り曲げ線を介して連設した蓋板 130 と、これらの正面板 110 と背面板 120 とを折り曲げ線を介して連結する左右一对の側板 140, 140 と、これらの正面板 110 と背面板 120 と左右一对の側板 140, 140 の下方に折り曲げ線を介して連結された底板 150 と、正面板 110 の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板 160 と、この正面側折り返し板 160 の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片 170 と、蓋板 130 の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板 180 とで一連に構成された蒸着紙からなり、これらの正面板 110 と背面板 120 と左右一对の側板 140, 140 と底板 150 とで包囲した商品収容領域 R を形成している。

なお、本参考例の商品包装箱 100 で用いた蒸着紙については、アルミ蒸着したポリエチレンテレフタレートフィルムをコートカード紙の表面に被覆したものである。

【0030】

そして、図 3 に示すように、上述した側壁のりしろ板 115 は、正面板 110 の右側端部で折り曲げ線となる正面板右端部折罫線 B L 1 を介して連結され、左側板 141 は、正面板 110 の左側端部で折り曲げ線となる正面板左端部折罫線 B L 2 を介して連結されるとともに背面板 120 の左側端部で折り曲げ線となる背面板右端部折罫線 B L 3 を介して連結され、右側板 142 は、背面板 120 の右側端部で折り曲げ線となる背面板左端部折罫線 B L 4 を介して連結され、正面側底板 151 は、正面板 110 の下端部で折り曲げ線となる正面板下端部折罫線 B L 5 を介して連結されるとともに正面側底ベース 152 とこの正面側底ベース 152 の右端部で折り曲げ線となる正面側底ベース右端部折罫線 B L 7 を介して連結された正面右側底ベース 153 とこの正面側底ベース 152 の左端部で折り曲げ線となる正面左側底ベース中央折罫線 B L 9 を介して連結された正面左側底ベース 154 とに連結されている。

【0031】

そして、正面側底板 151 の正面右側底ベース 153 は、中央に折り曲げ線となる正面右側底ベース中央折罫線 B L 8 を有し、正面側底板 151 の正面左側底ベース 154 は、中央に折り曲げ線となる正面左側底ベース中央折罫線 B L 10 を有し、正面側底板 151 は、中央に折り曲げ線となる正面側底ベース中央折罫線 B L 11 を有し、正面側底ベース右端部折罫線 B L 7 と正面側底ベース左端部折罫線 B L 9 とは、いずれも正面板 110 に延長され、正面板 110 の箱外周方向に向けて湾曲するのを助けている。

【0032】

また、背面板 120 の下側に連結された背面側底板 155 は、背面板 120 の下端部で折り曲げ線となる背面板下端部折罫線 B L 6 を介して連結された背面側底ベース 156 と、この背面側底ベース 156 の左端部で折り曲げ線となる背面側底ベース左端部折罫線 B L 12 および左側板 141 の下端部で折り曲げ線となる左側板下端部折罫線 B L 13 のそれぞれを介して連結された背面左側底ベース 157 と、この背面左側底ベース 157 と同様に、背面側底ベース 156 の右端部で折り曲げ線となる背面側底ベース右端部折罫線 B L 15 および右側板 142 の下端部で折り曲げ線となる右側板下端部折罫線 B L 16 のそれぞれを介して連結された背面右側底ベース 158 とを有している。

そして、背面左側底ベース 157 は、中央に折り曲げ線となる背面右側底ベース中央折罫線 B L 14 を有し、背面右側底ベース 158 は、中央に折り曲げ線である背面左側底ベース中央折罫線 B L 17 を有している。

【 0 0 3 3 】

他方、蓋板 1 3 0 は、背面板 1 2 0 の上端部で折り曲げ線となる背面板上端部折罫線 B L 2 0 を介して連結された蓋板本体 1 3 1 と、蓋板本体 1 3 1 の左上側端部で折り曲げ線となる蓋板左上端部折罫線 B L 2 2 を介して連結された蓋板左サイドフラップ 1 3 2 と、蓋板本体 1 3 1 の右上側端部で折り曲げ線となる蓋板右上端部折罫線 B L 2 3 を介して連結された蓋板右サイドフラップ 1 3 3 とを有している。

【 0 0 3 4 】

また、前述した正面側折り返し板 1 6 0 は、正面板 1 1 0 の上端部で折り曲げ線となる正面板上端部折罫線 B L 1 8 を介して連結されている。

【 0 0 3 5 】

前述したつまみ片 1 7 0 は、正面側折り返し板 1 6 0 の上端部で折り曲げ線となる正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 を介して連結されている。

【 0 0 3 6 】

また、正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 の中央には、つまみ片 1 7 0 側に切り込んだ切り欠き C T 1 0 によって係止舌片 1 6 1 が形成されている。

【 0 0 3 7 】

そして、係止舌片 1 6 1 を形成する切り欠き C T 1 0 は、つまみ片 1 7 0 側に正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 に平行に切り込んだ先端側切り欠き C T 1 1 と、先端側切り欠き C T 1 1 の右端部から正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 にかけて形成されたつまみ片側右側切り欠き C T 1 2 と、先端側切り欠き C T 1 1 の左端部から正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 にかけて形成されたつまみ片側左側切り欠き C T 1 3 から形成されている。

【 0 0 3 8 】

さらに、前述した背面側折り返し板 1 8 0 は、蓋板本体 1 3 1 の上端部で折り曲げ線となる蓋板上端部折罫線 B L 2 1 を介して連結されている。

また、蓋板上端部折罫線 B L 2 1 には、中央に心持ち蓋板 1 3 0 側に切り込んだ係止スリットを形成する切り欠き C T 2 0 によって係止スリット S L 1 が形成されている。

【 0 0 3 9 】

そして、本参考例の商品包装箱 1 0 0 は、正面板 1 1 0 とこの正面板 1 1 0 の上側で折り曲げ線を介して折り返された正面側折り返し板 1 6 0 とが、背面側折り返し板 1 8 0 に形成された凹部 1 8 1 を介して相互に一連で挿通する箱吊り下げ用孔 1 1 2 , 1 6 2 をそれぞれ備えている。

これにより、商品包装箱 1 0 0 を（図示しないが）陳列展示壁などに設けた商品吊り下げ用フックなどに吊り下げて陳列する際に、箱吊り下げ用孔 1 1 2 , 1 6 2 が、正面板 1 1 0 と正面側折り返し板 1 6 0 の双方を一連で挿通するように設けられているため、商品包装箱 1 0 0 内に収容された商品 M が従来よりも重い吊り下げ荷重であっても十分な耐久性を発揮して、箱吊り下げ用孔 1 1 2 , 1 6 2 の破損に起因する不用意な落下も防止している。

【 0 0 4 0 】

次に、本発明の参考例である商品包装箱 1 0 0 の組み立て方を、図 3 乃至図 7 に基づいて説明する。

なお、本参考例の説明で用いる「山折り」とは、光沢紙などのコート紙の表面側が山になる折り方を意味し、「谷折り」とは、光沢紙などのコート紙の表面側が谷になる折り方を意味している。

【 0 0 4 1 】

商品包装箱 1 0 0 が、図 7 のように組み立てられる際、例えば、正面板 1 1 0 および側壁のりしろ 1 1 5 は、正面板右端部折罫線 B L 1 で相互に鋭角となるように折り曲げられ、正面板 1 1 0 および左側板 1 4 1 は、正面板左端部折罫線 B L 2 で相互に鋭角となるように山折りで折り曲げられる。

【 0 0 4 2 】

同様に、背面板 120 および左側板 141 は、背面板右端部折罫線 B L 3 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられ、背面板 120 および右側板 142 は、背面板左端部折罫線 B L 4 で相互に鈍角となるように折り曲げられる。

【0043】

そして、側壁のりしろ 115 は、右側板 142 の外側面に一例として接着剤で接着され、商品包装箱 100 の正面板 110 は、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲するようになる。

【0044】

正面板 110 および正面側底板 151 は、正面板下端部折罫線 B L 5 で相互にほぼ 90 度となるように山折りで折り曲げられる。

10

正面右側底ベース 153 が、正面右側底ベース中央折罫線 B L 8 で谷折りに折り曲げられた後、正面側底ベース 152 と正面右側底ベース 153 は、正面側底ベース右端部折罫線 B L 7 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられる。

正面左側底ベース 154 が、正面左側底ベース中央折罫線 B L 10 で谷折りに折り曲げられた後、正面側底ベース 152 と正面左側底ベース 154 は、正面側底ベース左端部折罫線 B L 9 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられる。

続いて、正面側底ベース中央折罫線 B L 11 で谷折りに折り曲げられる。

【0045】

そして、背面板 120 および背面側底ベース 156 は、背面板下端部折罫線 B L 6 で相互に 90 度となるように山折りで折り曲げられる。

20

背面左側底ベース 157 が、背面右側底ベース中央折罫線 B L 14 で谷折りに折り曲げられた後、背面側底ベース 156 と背面左側底ベース 157 は、背面側底ベース左端部折罫線 B L 12 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられるとともに、左側板 141 と背面左側底ベース 157 は、左側板下端部折罫線 B L 13 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられる。

背面右側底ベース 158 が、背面左側底ベース中央折罫線 B L 17 で谷折りに折り曲げられた後、背面側底ベース 156 と背面右側底ベース 158 は、背面側底ベース右端部折罫線 B L 15 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられるとともに、右側板 142 と背面右側底ベース 158 は、右側板下端部折罫線 B L 16 で相互に鈍角となるように山折りで折り曲げられる。

30

【0046】

そして、図 4 のように、正面側底板 151 の外側面の中央に設けられた正面側底ベース中央折罫線 B L 11 の下側半分と背面側底ベース 156 の外側面の側上側半分とを一例として接着剤で接着され、商品包装箱 100 の底板 150 が形成される。

【0047】

商品収容領域 R 内に商品 M を収容した後、蓋板 130 および背面側折り返し板 180 は、図 5 のように、蓋板上端部折罫線 B L 21 で相互にほぼ 90 度となるように山折りで折り曲げられる。

次に、蓋板本体 131 と蓋板左サイドフラップ 132 は、蓋板上端部折罫線 B L 22 で相互にほぼ 90 度となるように山折りで折り曲げられ、蓋板本体 131 と蓋板右サイドフラップ 133 は、蓋板上端部折罫線 B L 23 で相互にほぼ 90 度となるように山折りで折り曲げられる。

40

その後、図 5 に示すように、背面板 120 および蓋板本体 131 が、背面板上端部折罫線 B L 20 で相互にほぼ 90 度となるように山折りで折り曲げられる。

【0048】

そして、図 6 および図 7 に示すように、正面側折り返し板 160 とつまみ片 170 が、正面側折り返し板上端部折罫線 B L 19 で相互にほぼ 90 度となるように谷折りで折り曲げられ、正面板 110 と正面側折り返し板 160 が、正面板上端部折罫線 B L 18 で相互にほぼ 90 度となるように山折りで折り曲げられる。

その後、図 7 に示すように、係止舌片 161 を係止スリット S L 1 に差し込んで係止す

50

ることにより、商品包装箱 100 の組み立てが完了する。

【0049】

そして、本参考例の商品包装箱 100 は、上述したように、商品収容領域 R 内に商品 M を収容して組み立てられることにより、背面板 120 より背の高い正面板 110 であっても正面側折り返し板 160 と背面側折り返し板 180 とが正面板 110 の裏面に重ね合わせられて正面板 110 が補強され、斜め上方から視認した場合であっても蓋板 130 を観せること無く商品情報のみが観易くなる。

そして、蓋板 130 の閉蓋時に蓋板 130 の背面側折り返し板 180 が正面板 110 の裏面と正面側折り返し板 160 との間で挟持されるとともに、つまみ片 170 が正面側折り返し板 160 とつまみ片 170 との折り曲げ線で蓋板 130 の閉蓋位置を位置決め保持し、係止舌片 161 を係止スリット S L 1 との係合状態を確実に維持するようになっている。

10

また、蓋板 130 の閉蓋時に蓋板 130 の背面側折り返し板 180 が正面板 110 の裏面と正面側折り返し板 160 との間で挟持されて重ね合わせられた状態で保持されているため、蓋板 130 の閉蓋時に蓋板が不用意に沈み込もうとしても正面板 110 の裏面と正面側折り返し板 160 との対向面間で接触抵抗が創出されて蓋板 130 の落ち込みを抑制し、特に、正面板 110 と背面板 120 と蓋板 130 とで少なくとも包囲された商品収容領域 R 内に収容される商品 M の高さ寸法が蓋板 130 の閉蓋位置に届くような場合には、蓋板 130 の不用意な落ち込みを完全に阻止する。

【0050】

20

なお、本参考例の商品包装箱 100 は、商品収容領域内に商品を収容する前、もしくは、商品収容領域内から商品を取り出した後では、底板 150 が、正面側底ベース中央折罫線 B L 11 を介して半分のみ接着されているため、正面板右端部折罫線 B L 1 と正面板左端部折罫線 B L 2 が山折り、正面側底ベース中央折罫線 B L 11 が谷折り、それぞれが折り畳まれることにより、商品包装箱 100 を扁平かつコンパクトな状態に維持する。

【0051】

次に、本発明の参考例である商品包装箱 100 の商品収容領域 R 内から商品 M を取り出すなどの開蓋時に、係止舌片 161 と係止スリット S L 1 との係止状態を解除させる動作原理を、図 8 乃至図 11 に基づいて説明する。

【0052】

30

まず、蓋板 130 の閉蓋時に、蓋板 130 の背面側折り返し板 180 が、正面板 110 の裏面と正面側折り返し板 160 との間で挟持され、相互に一体となって重畳されている。

これにより、背面板 120 より背の高い正面板 110 であっても正面側折り返し板 160 と背面側折り返し板 180 とが正面板 110 の裏面に重ね合わせられ、正面板 110 が補強されている。

この時、図 8 に示すように、つまみ片 170 が、正面側折り返し板 160 とつまみ片 170 との折り曲げ線で蓋板 130 の閉蓋位置を位置決め保持し、係止舌片 161 が係止スリット S L 1 内に差込まれた係止状態となる。

【0053】

40

次に、図 9 に示すように、蓋板の開蓋時に人手により正面側折り返し板 160 を離反させるように引き上げを開始すると、正面板 110 と背面側折り返し板 180 が変形しないため、つまみ片 170 が、箱外周側方側に向けて湾曲する正面板 110 の歪で生じる内部応力の影響を受けることなく、係止舌片 161 を誘導して係止スリット S L 1 から引き出し始める。

【0054】

そして、図 10 に示すように、係止舌片 161 の正面側折り返し板上端部折罫線 B L 19 に沿った基端部は、急激に弾性変形して係止スリット S L 1 から引き出される寸前の状態となる。

なお、この時でも、正面板 110 と背面側折り返し板 180 は、依然として変形してい

50

ない。

【 0 0 5 5 】

さらに、つまみ片 1 7 0 による引き出し力が所定値を超えて、図 1 1 に示すように、正面側折り返し板 1 6 0 が弾性変形すると、係止舌片 1 6 1 は、係止スリット S L 1 内に留まっていることができず、係止スリット S L 1 から引き出される。

この結果、つまみ片 1 7 0 が、係止舌片 1 6 1 と係止スリット S L 1 との係止状態を解除することになる。

【 0 0 5 6 】

このようにして得られた本発明の参考例である商品包装箱 1 0 0 は、箱外周前方側へ膨出して箱外周側方側に向けて湾曲する正面板 1 1 0 と、この正面板 1 1 0 の裏面に対向して箱外周後方側に配置する背の低い背面板 1 2 0 と、この背面板 1 2 0 の上側に連設して開閉する蓋板 1 3 0 と、これらの正面板 1 1 0 と背面板 1 2 0 と左右一対の側板 1 4 0 , 1 4 0 の下方に連結された底板 1 5 0 と、正面板 1 1 0 の上側に連設した正面側折り返し板 1 6 0 と、この正面側折り返し板 1 6 0 の上側に延設したつまみ片 1 6 1 と、蓋板 1 3 0 の上側に延設した背面側折り返し板 1 8 0 とを備えていることにより、湾曲表示面を備えた正面板 1 1 0 の優れた保形強度と形態安定性を長期に亘って確保するとともに、スッキリとしたデザイン性の高い優れた美観を呈し、しかも、蓋板 1 3 0 の閉蓋時におけるつまみ片 1 7 0 で蓋板 1 3 0 の不用意な浮き上がりによる蓋外れを確実に阻止する。

【 0 0 5 7 】

特に、本発明の参考例である商品包装箱 1 0 0 では、つまみ片 1 7 0 を切り込んで形成した係止舌片 1 6 1 と、蓋板 1 3 0 と背面側折り返し板 1 8 0 との間に切り込んで形成した係止スリット S L 1 とを備えていることにより、従来のような係止舌片 1 6 1 を係止スリット S L 1 から直接に引き出す際に必要となる解除操作負担が著しく軽減され、つまみ片 1 7 0 で係止舌片 1 6 1 と係止スリット S L 1 との係止状態を簡便に解除する。

【 実施例 1 】

【 0 0 5 8 】

以下に、本発明の第 1 実施例である商品包装箱 2 0 0 について、図 1 2 乃至図 1 6 に基づいて説明する。

ここで、図 1 2 は、本発明の第 1 実施例である商品包装箱の蓋板が開いた背面側斜視図であり、図 1 3 は、本発明の第 1 実施例における係止舌片と係止スリットとの係止状態の断面図であり、図 1 4 は、図 1 3 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直前状態の断面図であり、図 1 5 は、図 1 3 に示す係止舌片と係止スリットとの解除直後状態の断面図である。

【 0 0 5 9 】

本発明の第 1 実施例である商品包装箱 2 0 0 は、前述した参考例の商品包装箱 1 0 0 における係止舌片 1 6 1 と異なる形態の係止舌片 2 6 1 を採用したものであって、基本的な箱形状については、参考例の商品包装箱 1 0 0 と共通するので、その共通する事項については、下 2 桁が共通する 2 0 0 番代の符号を付すことによりその詳しい説明を省略する。

【 0 0 6 0 】

すなわち、本発明の第 1 実施例である商品包装箱 2 0 0 は、図 1 2 に示すように、箱外周前方側へ膨出して湾曲する正面板 2 1 0 と、この正面板 2 1 0 に対向して箱外周後方側に配置した背面板 2 2 0 と、この背面板 2 2 0 の上側に折り曲げ線を介して連設した蓋板 2 3 0 と、これらの正面板 2 1 0 と背面板 2 2 0 とを折り曲げ線を介して連結する左右一対の側板 2 4 0 , 2 4 0 と、これらの正面板 2 1 0 と背面板 2 2 0 と左右一対の側板 2 4 0 , 2 4 0 の下方に折り曲げ線を介して連結された底板 2 5 0 と、正面板 2 1 0 の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板 2 6 0 と、この正面側折り返し板 2 6 0 の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片 2 7 0 と、蓋板 2 3 0 の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板 2 8 0 とで一連に構成されたコート紙からなり、これらの正面板 2 1 0 と背面板 2 2 0 と左右一対の側板 2 4 0 , 2 4 0 と底板 2 5 0 とで包囲した商品収容領域 R を形成している。

【 0 0 6 1 】

そして、図 1 2 に示すように、第 2 実施例の商品包装箱 2 0 0 が最も特徴としている係止舌片 2 6 1 は、つまみ片 2 7 0 側に正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 に沿って平行に切り込んだ先端側切り欠き C T 1 1 と、先端側切り欠き C T 1 1 の右端部からつまみ片 2 7 0 と正面側折り返し板 2 6 0 との間の折り曲げ線となる正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 を越えて正面側折り返し板 2 6 0 側に形成されたつまみ片側右側切り欠き C T 1 2 と、先端側切り欠き C T 1 1 の左端部からつまみ片 2 7 0 と正面側折り返し板 2 6 0 との間の折り曲げ線となる正面側折り返し板上端部折罫線 B L 1 9 を越えて正面側折り返し板 2 6 0 側に形成されたつまみ片側左側切り欠き C T 1 3 とで形成されている。

【 0 0 6 2 】

次に、本発明の第 1 実施例である商品包装箱 2 0 0 の商品収容領域 R 内から商品 M を取り出すなどの開蓋時に、係止舌片 2 6 1 と係止スリット S L 1 との係止状態を解除させる動作原理を、図 1 3 乃至図 1 5 に基づいて説明する。

【 0 0 6 3 】

まず、図 1 3 に示すように、蓋板 2 3 0 の閉蓋時に、蓋板 2 3 0 の背面側折り返し板 2 8 0 が、正面板 2 1 0 の裏面と正面側折り返し板 2 6 0 との間で挟持され、相互に一体となって重畳されている。

これにより、背面板 2 2 0 より背の高い正面板 2 1 0 であっても正面側折り返し板 2 6 0 と背面側折り返し板 2 8 0 とが正面板 2 1 0 の裏面に重ね合わせられ、正面板 2 1 0 が補強されている。

この時、図 1 3 に示すように、つまみ片 2 7 0 が、正面側折り返し板 2 6 0 とつまみ片 2 7 0 との折り曲げ線で蓋板 2 3 0 の閉蓋位置を位置決め保持し、係止舌片 2 6 1 が、係止スリット S L 1 内に差込まれた係止状態を呈している。

【 0 0 6 4 】

次に、図 1 4 に示すように、蓋板 2 3 0 の開蓋時に人手により正面側折り返し板 2 6 0 を離反させるように引き上げを開始すると、正面板 2 1 0 と背面側折り返し板 2 8 0 が変形しないため、つまみ片 2 7 0 が、箱外周側方側に向けて湾曲する正面板 2 1 0 の歪で生じる内部応力の影響を受けることなく、係止舌片 2 6 1 を誘導して係止スリット S L 1 から引き出されるようになってくる。

【 0 0 6 5 】

そして、参考例のような係止舌片 1 6 1 の長さがつまみ片 1 7 0 と正面側折り返し板 1 6 0 との間の折り曲げ線を越えていない商品包装箱 1 0 0 よりも、係止舌片 2 6 1 の長さがより長くなり、係止舌片 2 6 1 および正面側折り返し板 2 6 0 の弾性変形度合いが大きくなってつまみ片 2 7 0 の引き上げ方向に順応し易くなり、図 1 4 に示すように、係止スリット S L 1 から引き出される寸前の状態になる。

なお、この時でも、正面板 2 1 0 と背面側折り返し板 2 8 0 は、依然として変形していない。

【 0 0 6 6 】

そして、前述したように、つまみ片 2 7 0 による引き出し力が所定値を超えて、正面側折り返し板 2 6 0 が大きく弾性変形すると、係止舌片 2 6 1 が係止スリット S L 1 に留まっていることができず、係止スリット S L 1 から引き出される。

その結果、つまみ片 2 7 0 が、係止舌片 2 6 1 と係止スリット S L 1 との係止状態を解除することになる。

【 0 0 6 7 】

また、第 1 実施例の商品包装箱 2 0 0 では、係止舌片 2 6 1 に左右一対で形成されたくの字状舌片側辺 2 6 1 a、2 6 1 a が、つまみ片 2 7 0 と正面側折り返し板 2 6 0 との間の折り曲げ線と交差して相互に内向き状態に切り欠かれている。

これにより、つまみ片 2 7 0 のつまみ位置がつまみ片 2 7 0 の左右いずれかの位置に偏った場合であったり、つまみ片 2 7 0 の引き上げ方向が正面板 2 1 0 の真後ろ方向から左右いずれかの方向へ偏った場合であっても、偏った側に切り欠かれたくの字状舌片側辺 2

10

20

30

40

50

61a、261aの正面側折り返し板側切り欠き部分がつまみ片270の偏った引き上げ動作に対してより一段と追従し易くなっている。

【0068】

このようにして得られた本発明の第1実施例である商品包装箱200は、前述した参考例の商品包装箱100が奏する効果に加えて、係止舌片261が、つまみ片270と正面側折り返し板260との間の折り曲げ線を越えて正面側折り返し板260側へ切り欠き形成されていることにより、前述した参考例のような係止舌片161の長さがつまみ片170と正面側折り返し板160との間の折り曲げ線を越えていない商品包装箱100よりもさらに長くなり、係止舌片261の弾性変形度合いが大きくなってつまみ片270の引き上げ方向に順応し易くなるため、開蓋のための係止舌片261と係止スリットSL1との係止解除の操作を開始する際に係止舌片261を係止スリットSL1から円滑に引き抜き解除することができる。

10

【0069】

しかも、係止舌片261に左右一対で形成されたくの字状舌片側辺261a、261aが、つまみ片270と正面側折り返し板260との間の折り曲げ線と交差して相互に内向き状態に切り欠かれていることにより、つまみ片270のつまみ位置がつまみ片270の左右いずれかの位置に偏った場合であったり、つまみ片270の引き上げ方向が正面板210の真後ろ方向から左右いずれかの方向へ偏った場合であっても、開蓋のための係止舌片261と係止スリットSL1との係止解除の操作を開始する際に利き手などによるつまみ片270のつまみ位置や引き上げ方向に関わることなく、係止舌片261を係止スリットSL1から円滑に引き抜き解除することができるなど、その効果は甚大である。

20

【実施例2】

【0070】

以下、本発明の第2実施例である商品包装箱300について、図16乃至図23に基づいて説明する。

ここで、図17は、本発明の第2実施例である商品包装箱の外観を示す背面側斜視図であり、図17は、本発明の第2実施例である商品包装箱の展開図であり、図18は、本発明の第2実施例である商品包装箱の蓋板が開いた背面側斜視図であり、図19は、図16の19A-19Aで見た係止舌片と係止スリットとの係止状態の断面図であり、図20は、図16に示す係止舌片と係止スリットとの解除動作開始状態の断面図であり、図21は、図16に示す係止舌片と係止スリットとの解除直前状態の断面図であり、図22は、図16に示す切り欠き中断点が破断する状態の断面図であり、図23は、図16に示す係止舌片と係止スリットとの解除直後状態の断面図である。

30

【0071】

本発明の第2実施例である商品包装箱300は、前述した参考例の商品包装箱100における係止舌片161および第1実施例の商品包装箱200における係止舌片261のそれぞれと異なる形態の係止舌片361を採用したものであって、基本的な箱形状については、参考例の商品包装箱100および第1実施例の商品包装箱200と共通するので、その共通する事項については、下2桁が共通する300番代の符号を付すことによりその詳しい説明を省略する。

40

【0072】

すなわち、本発明の第2実施例である商品包装箱300は、図17に示すように、箱外周前方側へ膨出して湾曲する正面板310と、この正面板310に対向して箱外周後方に配置した背面板320と、この背面板320の上側に折り曲げ線を介して連設した蓋板330と、これらの正面板310と背面板320とを折り曲げ線を介して連結する左右一対の側板340、340と、これらの正面板310と背面板320と左右一対の側板340、340の下方に折り曲げ線を介して連結された底板350と、正面板310の上側に折り曲げ線を介して連設した正面側折り返し板360と、この正面側折り返し板360の上側に折り曲げ線を介して延設したつまみ片370と、蓋板330の上側に折り曲げ線を介して延設した背面側折り返し板380とで一連に構成されたコート紙からなり、これら

50

の正面板 310 と背面板 320 と左右一对の側板 340、340 と底板 350 とで包囲した商品収容領域 R を形成している。

【0073】

そして、図 17 および図 18 に示すように、本発明の第 2 実施例である商品包装箱 300 が最も特徴としている係止舌片 361 は、つまみ片 370 側に正面側折り返し板上端部折罫線 BL19 に沿って平行に切り込んだ先端側切り欠き CT11 と、先端側切り欠き CT11 の右端部からつまみ片 370 と正面側折り返し板 360 との間の折り曲げ線となる正面側折り返し板上端部折罫線 BL19 を越えて正面側折り返し板 360 側に形成されたつまみ片側右側切り欠き CT12 と、先端側切り欠き CT11 の左端部からつまみ片 370 と正面側折り返し板 360 との間の折り曲げ線となる正面側折り返し板上端部折罫線 BL19 を越えて正面側折り返し板 360 側に形成されたつまみ片側左側切り欠き CT13 とで形成されている。

10

【0074】

次に、本発明の第 2 実施例である商品包装箱 300 の商品収容領域 R 内から商品 M を取り出すなどの開蓋時に、係止舌片 361 と係止スリット SL1 との係止状態を解除させる動作原理を、図 19 乃至図 23 に基づいて説明する。

【0075】

まず、図 19 に示すように、蓋板 330 の閉蓋時に蓋板 330 の背面側折り返し板 380 が、正面板 310 の裏面と正面側折り返し板 360 との間で挟持され、相互に一体となって重畳されている。

20

これにより、背面板 320 より背の高い正面板 310 であっても正面側折り返し板 360 と背面側折り返し板 380 とが正面板 310 の裏面に重ね合わせられ、正面板 310 が補強された状態になっている。

この時、図 19 に示すように、つまみ片 370 が、正面側折り返し板 360 とつまみ片 370 との折り曲げ線で蓋板 330 の閉蓋位置を位置決め保持し、係止舌片 361 は、係止スリット SL1 内に差込まれた強固な係止状態を呈している。

【0076】

次に、図 20 に示すように、蓋板 330 の開蓋時に人手によりつまみ片 370 を引き上げると、正面板 310 と背面側折り返し板 380 は変形しないため、箱外周側方側に向けて湾曲する正面板 310 の歪で生じる内部応力の影響を受けることなく、正面側折り返し板 360 が正面板 310 および背面側折り返し板 380 から離反するように、つまみ片 370 は、係止舌片 361 を係止スリット SL1 から引き出すように誘導し始める。

30

【0077】

そして、図 21 に示すように、係止舌片 361 の正面側折り返し板上端部折罫線 BL19 に沿った基端部で急激に弾性変形して係止スリット SL1 から引き出される寸前の状態になる。

なお、この時でも、正面板 310 と背面側折り返し板 380 は、依然として変形していない。

【0078】

そして、つまみ片 370 による引き抜き力が所定値を超えると、つまみ片 370 と正面側折り返し板 360 との間の折り曲げ線を超えた直後の正面側折り返し板側設けた切り欠き中断点 P が破断され、図 22 に示すように、係止舌片 361 として変形可能な長さが長くなり、係止舌片 361 と正面側折り返し板 360 の弾性変形度合いが大きくなって、係止舌片 361 がつまみ片 370 の引き上げ方向に順応し易くなる。

40

また、つまみ片 370 による引き抜き力が切り欠き中断点 P を破断する際に、つまみ片 370 による引き抜き力は、切り欠き中断点 P で一時的に抑制されるように分散される。

【0079】

そして、図 23 に示すように、正面側折り返し板 360 がさらに弾性変形すると、係止舌片 361 は、係止スリット SL1 に留まっていることができず、係止スリット SL1 から引き出され、この結果、つまみ片 370 が、係止舌片 361 と係止スリット SL1 との

50

係止状態を解除することになる。

【 0 0 8 0 】

このようにして得られた本発明の第2実施例である商品包装箱300は、前述した参考例の商品包装箱100が奏する効果、すなわち、デザイン性の高い湾曲表示面を備えた正面板の優れた保形強度と形態安定性とを長期に亘って確保するとともにつまみ片370で蓋板330の不用意な浮き上がりによる蓋外れを確実に阻止し、従来のような係止舌片を係止スリットから直接に引き出す際に必要となる解除操作負担が著しく軽減され、つまみ片370で係止舌片361と係止スリットSL1との係止状態を簡便に解除するという効果に加えて、係止舌片361が、つまみ片370と正面側折り返し板360との間の折り曲げ線となる正面側折り返し板上端部折罫線BL19を超えた直後の正面側折り返し板360側の切り欠き中断点Pを除いて、正面側折り返し板360側へ切り欠き形成されていることにより、つまみ片370による引き抜き力が一定以上になると、先に切り欠き中断点Pが破断されて係止舌片361として変形可能な長さが長くなり、係止舌片361の弾性変形度合いが大きくなってつまみ片370の引き上げ方向に順応し易くなるため、開蓋のための係止舌片361と係止スリットSL1との係止解除の操作を開始する際に係止舌片361を係止スリットSL1から円滑に引き抜くことができるとともに、この切り欠き中断点Pの破断により、蓋板330を破損することなく係止舌片361を係止スリットSL1から円滑に引き抜き、しかも、商品包装箱300を出荷した後に開蓋された事実を簡便に確認することもできる。

【 0 0 8 1 】

さらに、係止舌片361に左右一対で形成されたくの字状舌片側辺361a、361aが、つまみ片370と正面側折り返し板360との間の折り曲げ線と交差して相互に内向き状態に切り欠かれていることにより、つまみ片370のつまみ位置がつまみ片370の左右いずれかの位置に偏った場合であったり、つまみ片370の引き上げ方向が正面板310の真後ろ方向から左右いずれかの方向へ偏った場合であっても、開蓋のための係止舌片361と係止スリットSL1との係止解除の操作を開始する際に利き手などによるつまみ片370のつまみ位置や引き上げ方向に関わることなく、係止舌片361を係止スリットSL1から円滑に引き抜き解除することができるなど、その効果は甚大である。

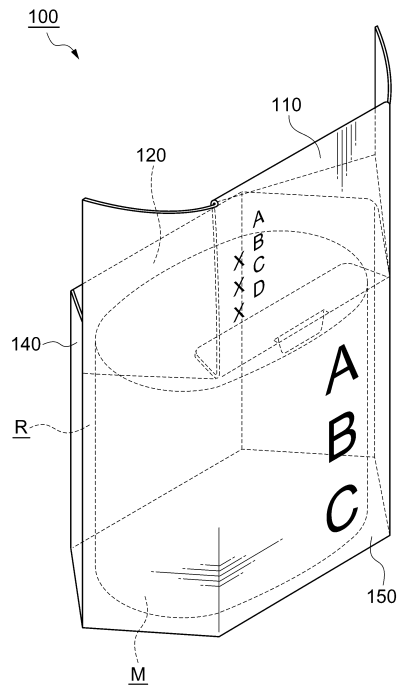
【 符号の説明 】

【 0 0 8 2 】

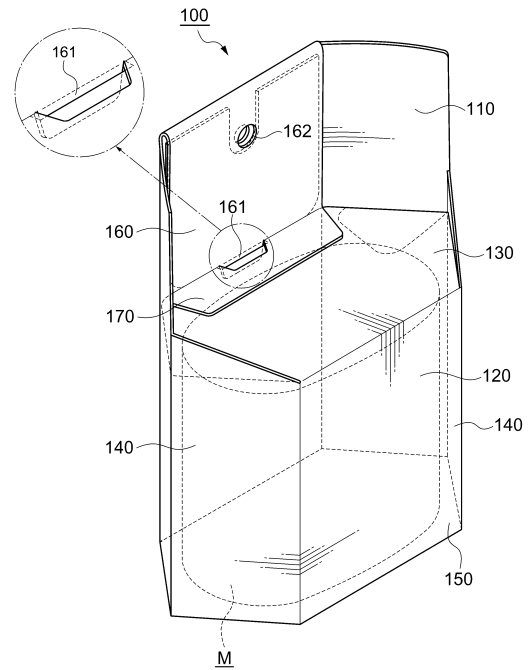
100、200、300・・・商品包装箱
 110、210、310・・・正面板
 112、212、312・・・箱吊り下げ用孔
 115、215、315・・・側壁のりしろ板
 120、220、320・・・背面板
 130、230、330・・・蓋板
 131、231、331・・・蓋板本体
 132、232、332・・・蓋板左サイドフラップ
 133、233、333・・・蓋板右サイドフラップ
 140、240、340・・・側板
 141、241、341・・・左側板
 142、242、342・・・右側板
 150、250、350・・・底板
 151、251、351・・・正面側底板
 152、252、352・・・正面側底ベース
 153、253、353・・・正面右側底ベース
 154、254、354・・・正面左側底ベース
 155、255、355・・・背面側底板
 156、256、356・・・背面側底ベース
 157、257、357・・・背面左側底ベース

1 5 8、2 5 8、3 5 8 . . .	背面右側底ベース	
1 6 0、2 6 0、3 6 0 . . .	正面側折り返し板	
1 6 1、2 6 1、3 6 1 . . .	係止舌片	
2 6 1 a . . .	くの字状舌片側辺	
1 6 2、2 6 2、3 6 2 . . .	箱吊り下げ用孔	
1 7 0、2 7 0、3 7 0 . . .	つまみ片	
1 8 0、2 8 0、3 8 0 . . .	背面側折り返し板	
1 8 1、2 8 1、3 8 1 . . .	凹部	
M . . .	商品	
R . . .	商品収容領域	10
S L 1 . . .	係止スリット	
P . . .	切り欠き中断点	
B L 1 . . .	正面板右端部折罫線	
B L 2 . . .	正面板左端部折罫線	
B L 3 . . .	背面板右端部折罫線	
B L 4 . . .	背面板左端部折罫線	
B L 5 . . .	正面板下端部折罫線	
B L 6 . . .	背面板下端部折罫線	
B L 7 . . .	正面側底ベース右端部折罫線	
B L 8 . . .	正面右側底ベース中央折罫線	20
B L 9 . . .	正面側底ベース左端部折罫線	
B L 1 0 . . .	正面左側底ベース中央折罫線	
B L 1 1 . . .	正面側底ベース中央折罫線	
B L 1 2 . . .	背面側底ベース左端部折罫線	
B L 1 3 . . .	左側板下端部折罫線	
B L 1 4 . . .	背面右側底ベース中央折罫線	
B L 1 5 . . .	背面側底ベース右端部折罫線	
B L 1 6 . . .	右側板下端部折罫線	
B L 1 7 . . .	背面左側底ベース中央折罫線	
B L 1 8 . . .	正面板上端部折罫線	30
B L 1 9 . . .	正面側折り返し板上端部折罫線	
B L 2 0 . . .	背面板上端部折罫線	
B L 2 1 . . .	蓋板上端部折罫線	
B L 2 2 . . .	蓋板左上端部折罫線	
B L 2 3 . . .	蓋板右上端部折罫線	
C T 1 0 . . .	切り欠き	
C T 1 1 . . .	先端側切り欠き	
C T 1 2 . . .	つまみ片側右側切り欠き	
C T 1 3 . . .	つまみ片側左側切り欠き	
C T 2 0 . . .	切り欠き	40

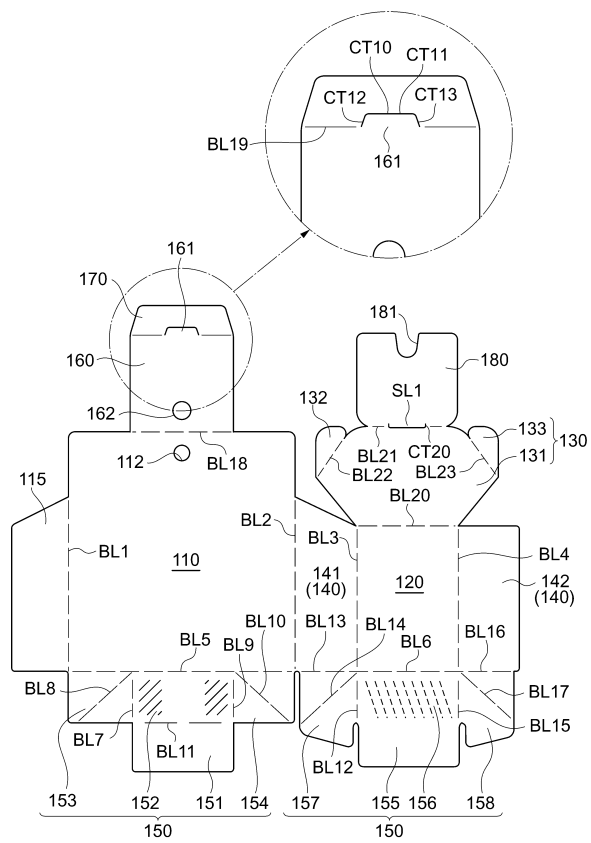
【図 1】



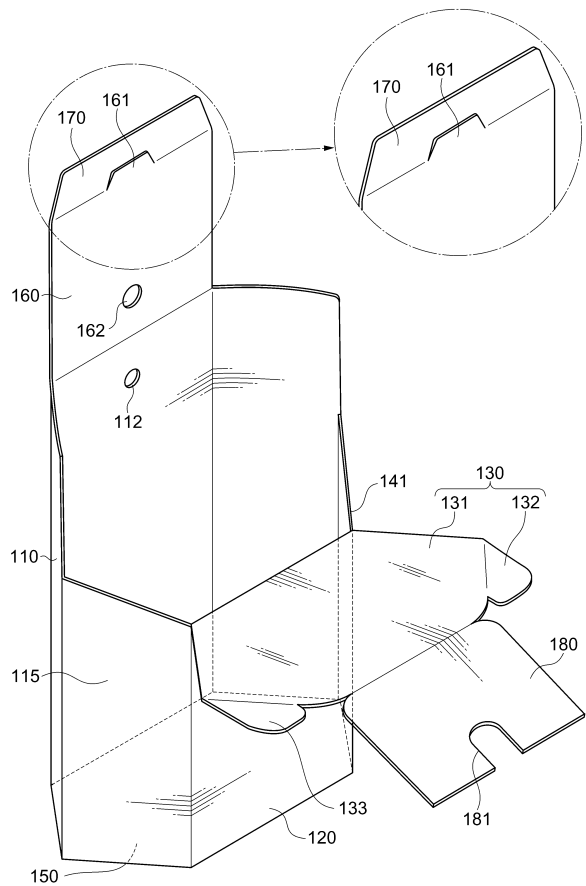
【図 2】



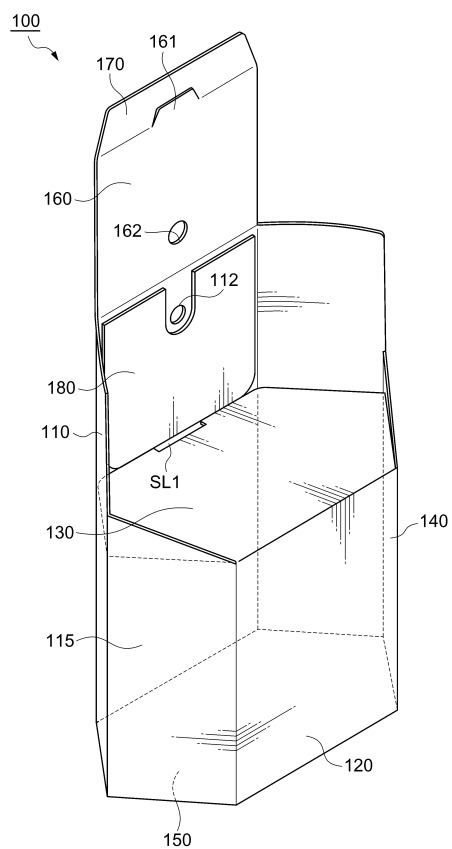
【図 3】



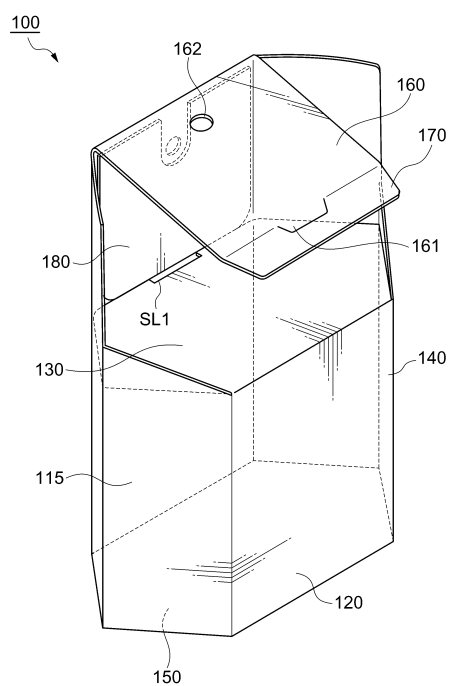
【図 4】



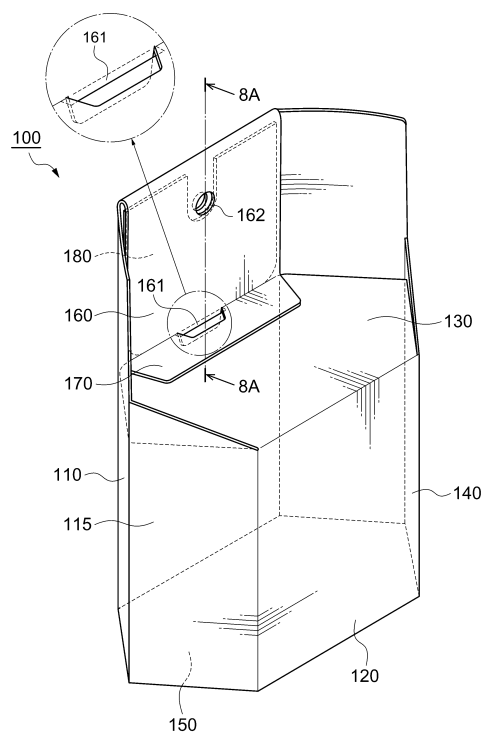
【 図 5 】



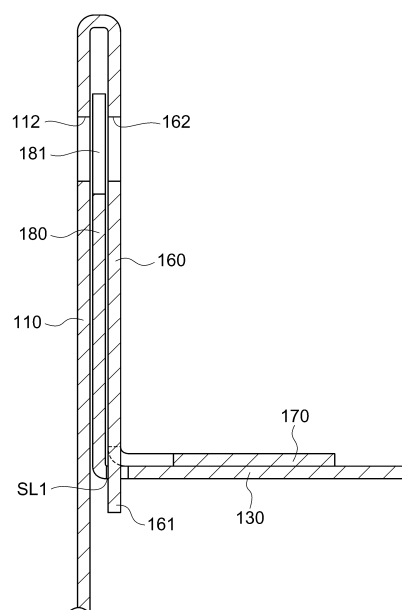
【 図 6 】



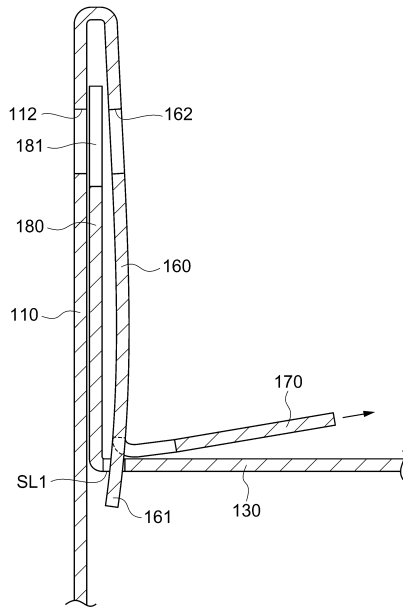
【圖 7】



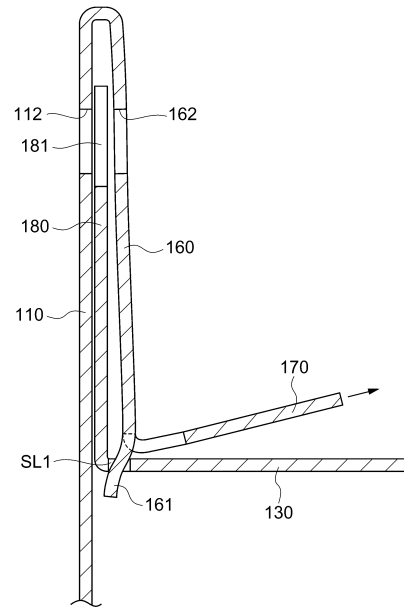
【 図 8 】



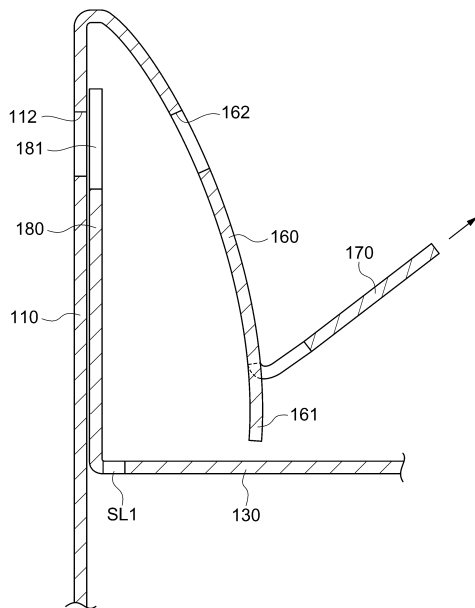
【図 9】



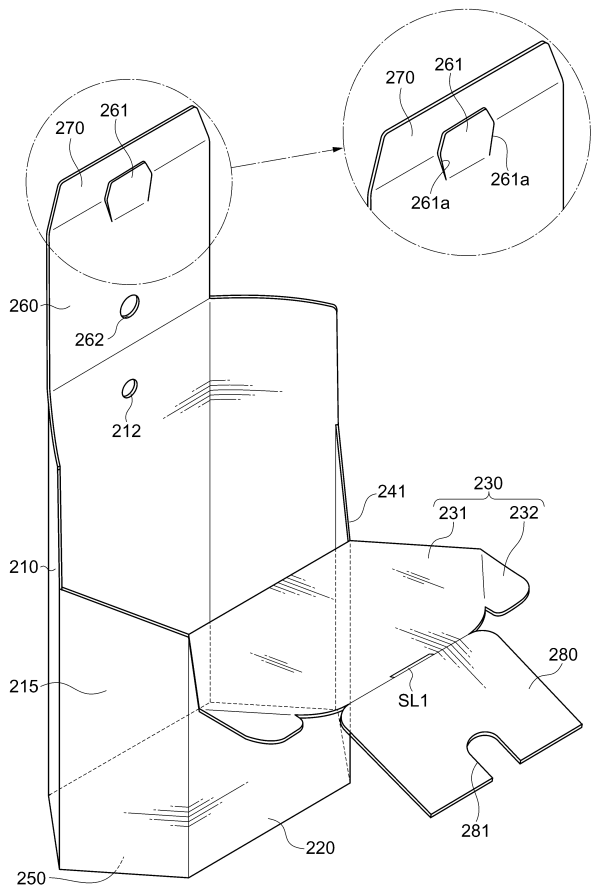
【図 10】



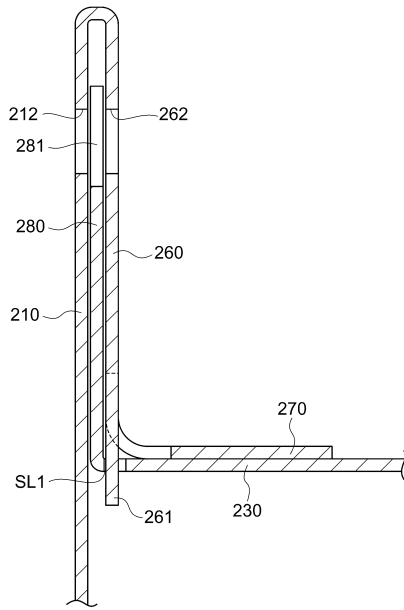
【図 11】



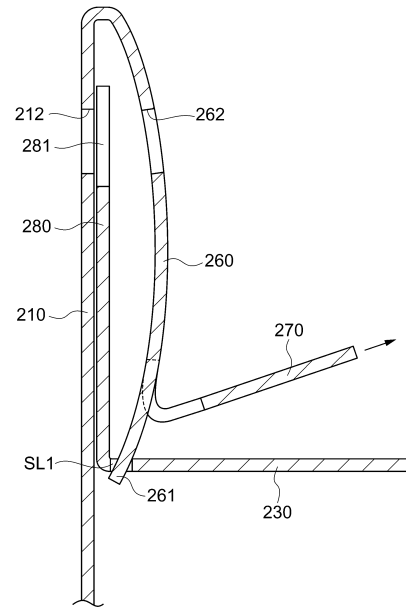
【図 12】



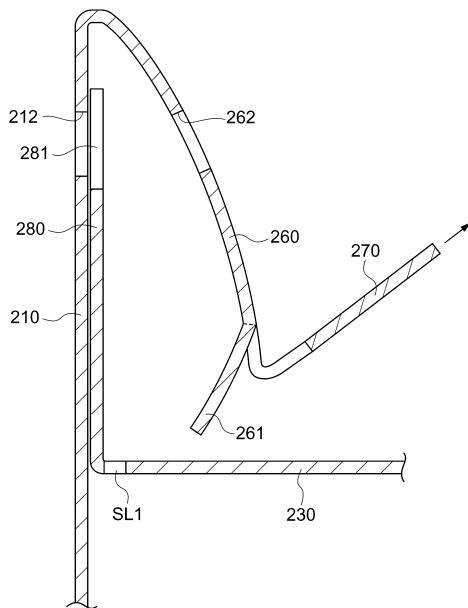
【図 13】



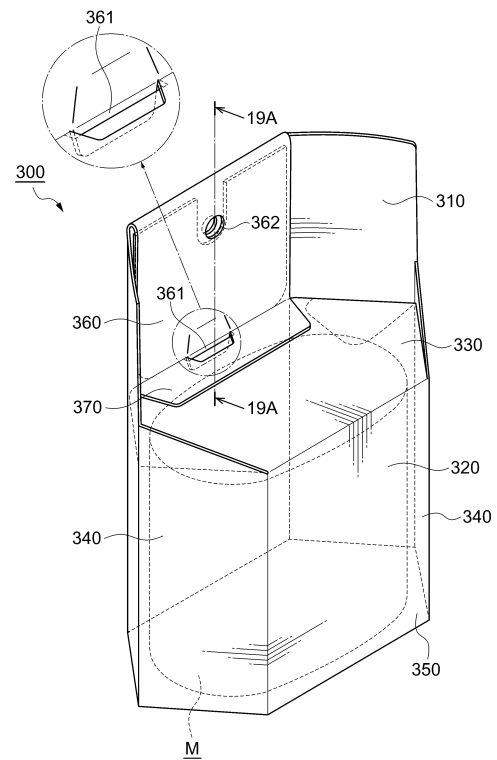
【図 14】



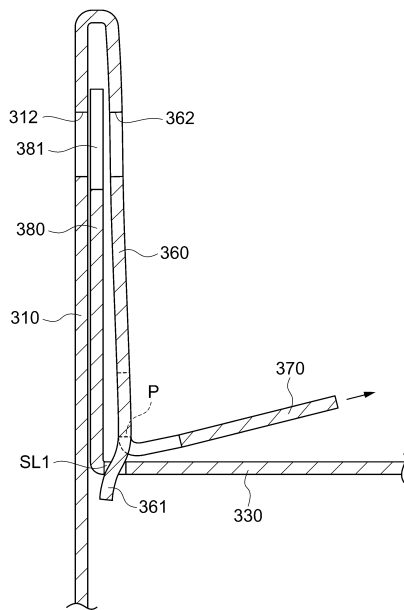
【図 15】



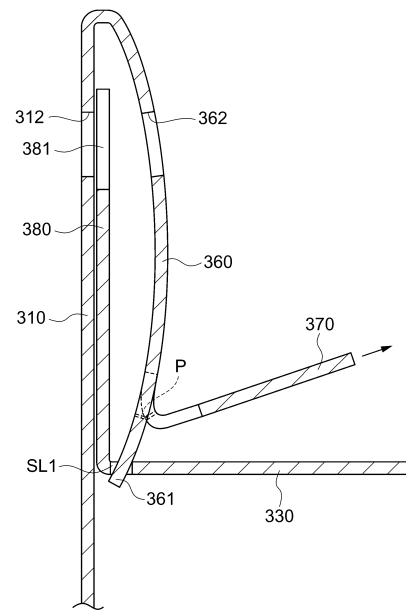
【図 16】



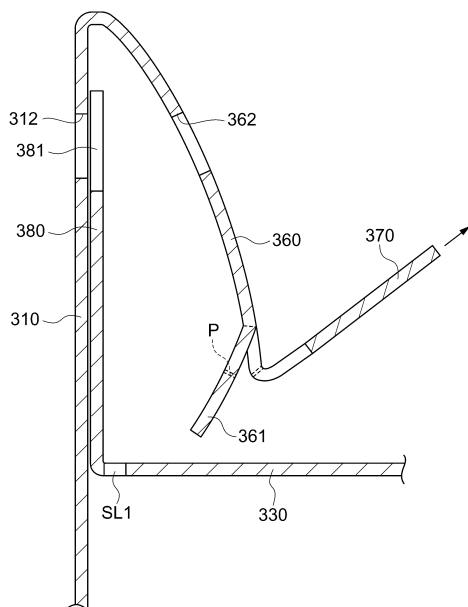
【図 2 1】



【図 2 2】



【図 2 3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I
B 6 5 D 5/52 H

(72)発明者 今井 恵
東京都中央区日本橋3丁目6番2号 株式会社コーセー内
(72)発明者 松村 洋介
東京都江東区深川2丁目5番6号 相互印刷紙器株式会社内

審査官 植前 津子

(56)参考文献 特開2011-051630(JP,A)
実開平01-134012(JP,U)
米国特許出願公開第2014/0138262(US,A1)
特開2008-308172(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B 6 5 D 3 / 0 2
B 6 5 D 5 / 0 0 - 5 / 7 6